

場ノ運轉ヲ休止シ持久戦ニ入ルモノ、如シ
二、勞働者側

争議団側ニアリテハ十九日大西松治ヲ争議団長ニ其他各部署
ヲ決定組合本部員菊川忠雄等ノ應援ノ下ニ警備員ヲ配置シ交
書戦言論戦ヲ以テ対抗シツ、アルモ解雇職工十七名ト外僅カ
二十余名ノ従業員居ルニ過カズ氣勢少シモ揚ラズ二十日午後
一時ヨリ大西松治外一名工場長ト會見シ要求書ニ対スル回答
ヲ求メタルニ十七名復職云々ノ外ハ殆ント全部承認シタルモ
右代表ハ飽迄十七名ノ復職ヲ要求シテ引揚ケタリ

三、警察事故

本月十九日午前九時職工岡田重雄ハ争議参加ヲ忌避シ工場ニ
入ラントシタルニ争議団員ニ妨害サレ且全治三週間ノ打撲傷ヲ受ケリ
被疑者澤田清吉外一名於是採取調中
石及申(通)報候也

湯秋弟二一號

昭和六年一月八日

警視總監 丸山 鶴吉



内務大臣 安達謙藏 殿

社 會 局 長 官 殿

各 廳 府 縣 長 官 殿 (六ヶ所)

6. 1. 12
2043

高崎校紙千任 工場勞働争議ニ關スル件 (解決)

該報標記勞働争議ハ容年十二月二十六日當廳裁判課ニ於テ勞資
會見交渉ノ結果左記實書条件ニヨリ圓滿解決セリ

記

一、會社ハ曩ニ發表シタル解雇者十七名中争議期間内ニ争議團ヲ
脱退シタル二名ヲ除ク十五名中ヨリ八名ノ復職ヲ認メ争議團
ハ七名ノ解雇ヲ認ムルコト但復職者ノ入選ハ會社ニ於テ之ヲ